









平成28年度現地検討会実施状況（森林ふれあい・技術の普及等）

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
木育	「木育・森林環境教育」意見交換会	8月25日	オホーツク総合振興局東部森林室 常呂川森林ふれあい推進センター	津別町（道有林）	国有林	4名	オホーツク総合振興局東部森林室と常呂川森林ふれあい推進センターが連携して、木育や森林環境教育を推進することを目的として実施	津別町チメケップ湖畔の道有林で、東部森林室担当者から「遊歩道」や「野鳥公園」の概要説明と活用状況等の説明の後、施設の維持管理やフィールドの活用状況等について意見交換等を実施した。	
					民有林	3名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	7名			
「遊歩道」の概要説明									
木育	フィールド見学・意見交換会	9月9日	常呂川森林ふれあい推進センター	北見市（国有林）	国有林	13名	近隣の森林管理署への森林環境教育及びふれあい業務の理解の向上やスキルアップ、情報共有等を目的として実施	自然体験プログラムの解説や木の葉・枝等を使用した工作を行うとともに、森林教室を実施する際の注意事項等を説明した。	
					民有林	名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	13名			
自然体験プログラムの解説									
自然再生	野幌自然環境モニタリング検討会	10月25日	石狩地域森林ふれあい推進センター	江別市(野幌国有林)	国有林	8名	台風被害を受けた野幌森林公園において、市民と協働の森林づくり等に取り組む「野幌プロジェクト」を推進するため、台風被害後の森林の再生状況等を把握するためのモニタリング調査に係る検討を実施	台風被害後の森林の再生状況を把握することを目的に、倒木等による環境の変化に影響されやすい「森林植生」「歩行性甲虫」「菌類」について調査を行い、植栽木や天然更新木への影響度を把握するため「野生動物」の調査を実施しており、各調査の実施に当たりモニタリングの調査箇所・方法等について検討し、森林の再生段階や、その他森林の有する生態系の健全性、懸案事項等についてとりまとめを実施。	
					民有林	名			
					事業体	名			
					研究機関	5名			
					その他	3名			
					合計	16名			
自然再生	「オホーツクの森自然再生モデル事業」企画運営協議会	10月28日	「オホーツクの森自然再生モデル事業」企画運営協議会	北見市（国有林）	国有林	6名	「オホーツクの森自然再生事業」の全体構想に基づき、地域住民・NPO・ボランティア団体・自治体等による、多様性のある森林への再生及び森林環境教育等の推進を目的として実施	「自然再生モデル林」（オホーツクの森自然再生事業地）に係る、森林づくりの活動状況等を報告するとともに、現地で今後の活動の方向性や、多様性のある森林への補助作業などについて意見交換を実施した。	
					民有林	2名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	4名			
					合計	12名			
現地での意見交換									

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
木育	ふれあいセンター等事業現地検討会	11月8～9日	北海道森林管理局技術普及課 駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター	七飯町（国有林）	国有林	19名	北海道各地の森林ふれあい推進センター等が取り組んでいる事業の情報共有と現地見学により自然再生活動、森林環境教育及び森林教室などに対する知見を広め、各ふれあいセンター等の課題について検討し、今後の事業に活用	多様性のある森林への再生事業地（大沼国有林）ではボランティアが行ったカラマツの列状間伐跡地の伐採列へのカミネッコンによる植栽箇所及び、森林環境教育のフィールドとして、樹木博士の認定を行っている常設コースを見学した。 意見交換では「樹木博士認定林は、利便性や樹種の豊富さなどの環境が整っており、森林環境教育を行う上で条件のよい箇所であり森林教室や森林セラピー等の実施も検討できる」といった意見があった。 各ふれあいセンターの本年度の取組内容を共有し意見交換を実施し、地域の期待に応えられる取組みを行っていくことを確認した。 また、近隣署の若手職員も参加し、人材育成にも役割を果たした。	
					民有林	名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	19名			
樹木博士認定常設コースの見学									
技術普及	国有林実務見学会	12月8日	渡島森林管理署 檜山森林管理署 渡島総合振興局 檜山振興局	江差町（国有林） 江差町（国有林）	国有林	8名	民国連携した地域の課題解決に向けた活動を推進するため、北海道職員と国有林若手職員との意見交換会の実施	民国連携した地域の課題解決に向けた活動を推進するため渡島檜山地域の林務関係道職員へ森林管理署の組織体制や国有林野事業の概要等を説明した。 道・署職員が自己紹介を兼ねた担当業務の紹介等を通じ民有林行政と国有林分野との違い等について学ぶ機会とした。 意見交換では「一般民有林は面積が小さく個々の意見もある中で、集約化し作業道等の整備するなど難しい」などの意見があった。 今後も、民国連携した地域の課題解決に向けた活動を推進するため「実務見学会」等を開催していくこととした。	
					民有林	7名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	15名			
国有林実務見学会									
木育	森林・林業見学会	1月16日	上川中部森林管理署	上川町(国有林) 当麻町(森林組合製材工場) 当麻町(くるみなの木遊館)	国有林	8名	森林・林業について体験・学習する機会の提供や、木にふれ合い、木の良さを理解してもらう「木育」活動を推進するため、将来、教員や保育士など児童等を指導、教育する立場になる大学生等の方々に、森林・林業や木育を理解していただくことを目的に見学会を実施	森林蓄積や主伐再造林の必要性及びCLTの開発・普及等の説明、現地では間伐箇所の概要の説明を受け実際に伐採から搬出までの行程を見学した。 参加者からは「森林蓄積が増えている事」「林業機械の高性能化への驚き」「貴重な経験ができて良かった」などの意見があった。 また、木材の流通について当麻町森林組合の製材工場及びくるみなの木遊館を見学してもらい、川上から川下までの木材の流れ等、木育の推進に向けた普及活動を実施した。	
					民有林	名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	6名			
					合計	14名			
ハーベスタによる伐採を見学									
技術普及	釧路総合振興局と根釧西部森林管理署との職員意見交換会	2月8日	釧路総合振興局 根釧西部森林管理署	釧路総合振興局森林室 浜中町（道有林）	国有林	11名	道有林と国有林の連携強化を図るため、お互いの現場の作業仕組みや現状について理解を深める	互いの森林・林業諸課題への取り組みや作業仕組みなどについて、情報交換及び意見交換を実施した。 その後、道有林伐採現場と製材工場を見学し現状を共有した。 現地検討会を含めた意見交換会を、今後も実施していくこととした。	
					民有林	9名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	20名			
釧路総合振興局森林室での意見交換									